

「広重づくし」

2023年度
小樽芸術村企画展



江戸時代に名所絵で人気を博した浮世絵師、初代歌川広重。広重には、その画号を継いだ弟子の二代歌川広重(重宣)と三代歌川広重(重政)がいました。二代、三代は主に師と同じ風景画の分野で活躍しますが、初代広重が見ることのできなかった開港後の横浜や、急速に近代化が進む東京のまちなみなどを数多く描いており、画題や表現の仕方においてそれぞれが独創性を発揮しています。

本展では、《保永堂版東海道五十三次之内》や《名所江戸百景》などの名所絵の代表作や、美人画、静物画など、初代広重の幅広い画業をご紹介します。あわせて、当館初公開となる二代広重の名所絵や三代広重の開化絵を展示。「広重」の名が繋いできたもの、または時代とともに変わっていったものを探ります。



初代歌川広重《伊勢名所 二見ヶ浦の図》



初代歌川広重《保永堂版東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪》



初代歌川広重
《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》



二代歌川広重《諸国名所百景 伊予峰越免坂網》



三代歌川広重《東京名所之内 銀座通煉瓦造鉄道馬車往復図》

利用のご案内

【開館時間 Hours】 9:30～17:00(最終入場16:30まで) ※入場は閉館30分前まで
* Admission accepted up until 30 minutes before closing

【休館日 Closed】 5月24日(水)

【入場料 Admission】

一般 Adults	大学生 College Students	高校生 High School Students	中学生 Junior high school students	小学生 Elementary school students
1,000円	600円	500円	400円	300円

※あわせて旧三井銀行小樽支店内をすべてご覧いただけます

※大学生・高校生・中学生は学生証の提示が必要です

※障がい者手帳をお持ちの方無料(介護者の方は1名様のみ無料)

関連企画

●ギャラリートーク

担当学芸員が展覧会の見どころを解説いたします。

日時／5月13日(土) ①11:00～ ②15:00～

定員／10名様 要予約 TEL／0134-31-1033

MAIL／nitoribzd@nitori.jp

※お名前、お電話番号とご希望の時間帯をお知らせ下さい。

料金／無料(当日購入の本展のチケット必要)

集合場所／展覧会会場入口



小樽芸術村

〒047-0031 小樽市色内1丁目3-1(似島美術館)
TEL.0134-31-1033 FAX.0134-31-1035

OTARU ART BASE

Ironai 1-chome 3-1, Otaru, Hokkaido



【アクセス】

札幌方面よりお車の場合／札幌自動車道小樽ICで降り、余市方面行きの臨港線へ。

色内1丁目の交差点そば。

札幌方面よりJRの場合／JR札幌駅から函館本線小樽行きに乗りし、JR小樽駅下車。駅前から〈タクシー約3分〉〈徒歩約10分〉〈バス約3分〔小樽駅前ターミナル④〕〔9〕天狗山ロープウェイ線〉行きに乗車、〔小樽芸術村〕で下車

From Sapporo By Car: Get off the Sasson Expressway at Otaru IC, and stay on Rinkosen Blvd. toward Yoichi. The museum is located near Ironai Itchome intersection.

From Sapporo By JR: From JR Sapporo Station board trains on the Hakodate Main Line bound for Otaru. Get off at Otaru Station and it is: 3 minutes by taxi, 10 minutes on foot, 3 minutes by bus [Chuo Bus Otaru Station Bus Terminal No.4], board the [No. 9 bus bound for Tenguyama Ropeway Line]. Get off at [Otaru Art Base].